

2025年1月31日

各位

Global X Japan 株式会社

Global X Japan 史上最速^{*1}で 50 本目の ETF を上場！ 日本での ETF 投資の活性化のため、さらなる成長を目指す

日本で唯一の ETF 専門資産運用会社の Global X Japan は、2025 年 1 月 9 日に、東京証券取引所へ「[グローバル X 銀行 高配当-日本株式 ETF](#)」【315A】を新たに上場しました。

本 ETF の上場をもって、Global X Japan が設定・運用する ETF は 50 本に到達しました。

会社設立以降 5 年 4 カ月目での上場本数 50 本は、東京証券取引所に ETF を上場している資産運用会社の中で、最も早いペースとなります。

そこで本レターでは「[グローバル X 銀行 高配当-日本株式 ETF](#)」【315A】の概要と、東京証券取引所において開催された上場記念セレモニーにおける、当社社長挨拶および質疑応答の一部を抜粋してお届けします。

^{*1}Global X Japan 調べ

【新商品概要】

17 年ぶりの政策金利の引き上げで、金利のある世界へ 日本の高配当の銀行株 15 銘柄に投資する ETF

2024 年に行われた日本銀行の政策金利の引き上げによって、日本にも 17 年ぶりに金利のある世界が訪れました。金利の上昇によって恩恵を受ける業種は銀行業です。利ざやが拡大し、増収増益への期待から、銀行株のパフォーマンスは足元で好調です。

銀行業は資本効率の改善余地も大きく、配当などの株主還元を中心とした取り組みが評価されることで、更なる株価の上昇も期待されます。

このような動きを受けて、2025 年 1 月 9 日に新しく東京証券取引所に上場したのが「[グローバル X 銀行 高配当-日本株式 ETF](#)」【315A】です。日本の銀行株のうち、配当金総額や配当利回りの高い 15 銘柄を厳選して組み入れており、資本収益性や成長性に優れた銀行株に的を絞って投資することができる ETF です。

【社長挨拶】

最速ペースで上場本数 50 本へ到達

年間パフォーマンスは2年連続で1位を獲得

Global X Japan 代表取締役社長 姜 昇浩

ETF は米国を中心に優れた投資手法として広く普及している金融商品で、世界残高は現在 2,000 兆円を突破しています。

(※2024 年 10 月末時点にて 14 兆 2,580 億ドル。≒2,281 兆円。1 ドル=160 円換算)

日本の ETF 残高は足元で約 90 兆円と年々増加していますが、世界と比較するとまだ道半ばです。ただし、2024 年から始まった新 NISA を契機とする資産運用への意識の高まりによって、ETF の認知度・利用度の高まりを実感しています。

日本には現在、約 350 本の ETF が東京証券取引所に上場しています。当社の ETF はその内の 50 本でシェアは約 15%です。2019 年 9 月の会社設立から、わずか 5 年 4 ヶ月での 50 本目の到達は、他の大手資産運用会社と比較しても、最も早いペースだと認識しています。

また当社の運用資産残高は足元で 4,500 億円を超え、近い将来には 5,000 億円への到達を見据えています。

一方、パフォーマンス面においても、レバレッジ型を除く東証上場 ETF の中で、[2023 年・2024 年と 2 年連続で当社の ETF が 1 位](#)になっており、質の高い商品を提供しております。

今後も投資家の皆さまにユニークで質の高いラインアップを提供し、日本における ETF 投資がさらに盛り上がるよう、取り組んでまいります。



【質疑応答】

個人投資家が資産運用に慣れてきたら、ETF が注目を集める

大和証券グループで連携し、日本に ETF 投資を広めたい

Q：50 本目となる ETF で、銀行に注目した理由は？

Global X Japan 代表取締役社長 姜 昇浩

日本にもようやく金利のある世界が到来しました。金利上昇の恩恵を一番に受けるのは銀行業です。日本の銀行は今後の成長が期待できますし、高配当銘柄が多いのも特徴です。加えてキャピタルゲインも狙える点が、銀行業に注目した背景です。

先行する銀行関連の ETF は、幅広い銀行株を指数化したものもあります。一方、当社の ETF は 15 銘柄へ集中投資をしているので、既存の ETF とは性質が異なります。当社は「エッジの効いた」商品設計を心がけており、上場初日から多額の資金が流入しています。

Q：日本で米国のように ETF が広がらない現状をどのように捉えているか？

大和証券グループ本社 取締役兼執行役副社長 田代 桂子

ETF は投資家にとって非常に利便性が高い金融商品なのですが、投資初心者からすると個別株や投資信託と少し異なる点があり、その点が「ETF は難しい」との印象を与えているのかもしれない。そのため、日本においてどのように ETF 投資を広めていくかが課題であると認識しています。

一方、個人投資家が資産運用に慣れてきて次のステップに進む際に、ETF は一気に注目を集める、非常に将来性のある金融商品であると大和証券グループでは考えています。

米国で先を行く Global X のノウハウを活かして、日本で ETF 投資をさらに広げられるように、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

Q：ETF の普及のため、大和証券グループではどのような連携をしているか？

大和アセットマネジメント 代表取締役社長 小松 幹太

大和アセットマネジメントでは「[一步先いくシリーズ](#)」という投資信託を手掛けています。これは Global X の商品の中で、人気のある ETF を投資信託化したものです。直接 ETF を購入いただいた方がコストは安いのですが、投資初心者の方の中には、ETF 投資へのハードルを感じていらっしゃる方もいます。

そこで大和アセットマネジメントが取り扱っているのが、Global X のETFに投資をする「[一步先いくシリーズ](#)」です。現在は4本のETFを投資信託化していますが、そのうちの1つの「[一步先いく US テック・トップ 20 インデックス](#)」は2024年3月の設定以降、1年足らずで250億円以上の残高を積み上げました。このように、まずは馴染みのある投資信託の形でETFを知っていただき、ETF投資を始めるきっかけになればと考えています。

Q：今後、どの程度の本数のETFを上場させる予定か？

Global X Japan 代表取締役社長 姜 昇浩

当社では上場本数の目標は設定しておりません。中長期的に高い成長が見込まれるテーマがある限りは商品を提供していく方針です。当社の出資会社である米国のGlobal Xでは、現在ナスダック市場に98本のETFを上場しています。米国と比較すると当社（日本）の取り扱い本数はまだ半分程度のため、今後取り扱うべきETFは、まだまだあると考えています。



右：株式会社大和証券グループ本社 取締役兼執行役副社長 田代 桂子

中：Global X Japan 株式会社 代表取締役社長 姜 昇浩

左：大和アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 小松 幹太

(執筆／藤井恵)

【会社概要】

商号	Global X Japan 株式会社
所在地	〒100-6121 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号 山王パークタワー21 階 03-5656-5274（代表）
事業の内容	投資運用業、投資助言・代理業
設立	2019年9月
資本金	50億円（資本準備金を含む）
株主	Global X Management Company, Inc.（50%） 大和アセットマネジメント株式会社（40%） 株式会社大和証券グループ本社（10%）
拠点	東京
役員	代表取締役会長 張峯碩 代表取締役社長 姜昇浩
役職員	69名
HP	https://globalxetfs.co.jp/index.html

【このニュースレターに関するお問い合わせ先】

info@globalxetfs.co.jp

Global X Japan 株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3174 号
一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人投資信託協会会員

免責事項

- ・本資料は会社概要及び投資戦略等をご紹介することを目的としており、資料に含まれる商品の勧誘・販売を目的とした資料ではありません。
- ・本資料に記載されている内容、情報及びデータ等につきましては、本資料作成時点のものであり、各種要因により変動します。
- ・本資料に関する一切の権利、義務は、情報提供者に帰属し、情報提供者の事由により内容が変更・修正されることがあります。
- ・本資料の情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任のもとに行うこととし、万一本資料の情報により損失を被ったとしても、情報提供者は一切の責任を負うものではありません。
- ・本資料の著作権は、情報提供者に帰属します。

・ファンド（投資信託）のリスクについて

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他」

- ※ 基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたって、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

・お客さまにご負担いただく費用

ETFに係る費用（金融商品取引所を通してETFに投資するお客さまの場合）（2025年1月現在）

ETFの市場での売買には、証券会社が独自に定める売買委託手数料がかかり、約定金額とは別にご負担いただきます。（取扱会社ごとに手数料率が異なりますので、その上限額を表示することができません。）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、以下の通り運用管理費用（信託報酬）がかかります。

- ・グローバルX 銀行 高配当-日本株式ETF【315A】：年率0.3025%（税込）

※ その他の費用・手数料としては、組入有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。

- ※ 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたっては投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【商号等】

大和アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 352 号

【加入協会】

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大33,000円 をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~1.98% (税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約55円 をご負担いただけます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただけます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。